

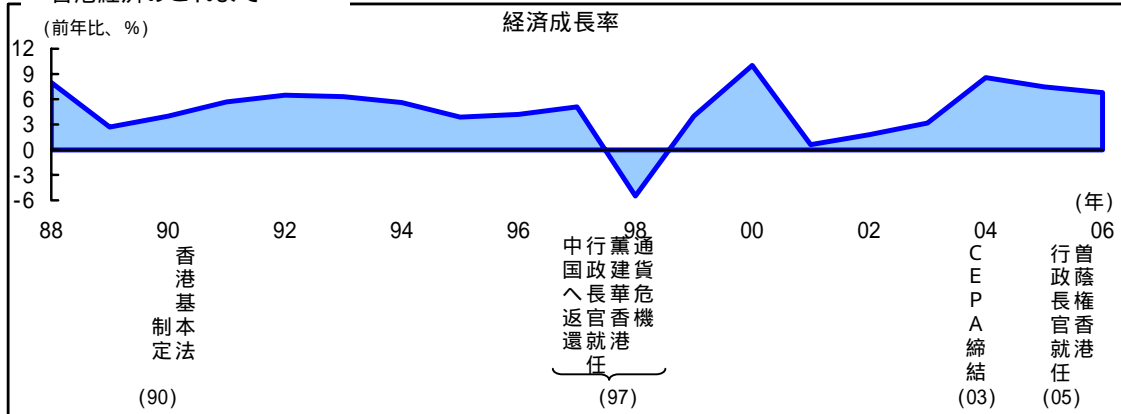
6 香 港

Hong Kong

<2006年>

人口	685.7万人 (東京都の約 1 / 2)	財政会計年度	4月～3月
一人当たりGDP	27,608ドル	為替制度	カレンシー・ボード制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 0.1% 2次産業 11.4% 3次産業 88.5%	通貨	香港ドル 1米ドル=7.768香港ドル
		面積	1,101km ² (東京都の約 1 / 2)

<香港経済のこれまで>



香港の主要経済指標

		95～04年	2005年	2006年	2007年			民間機関
					政府	A D B	I M F	
実質GDP	前年比%	3.5	7.5	6.8	4.5～5.5	5.4	5.5	実質GDP平均
個人消費	同上	6.5	3.3	5.1				5.0
総固定資本形成	同上	4.9	4.6	7.9				最大
製造業生産	同上	4.1	2.5	2.2				6.2
消費者物価	同上	0.8	1.0	2.0	1.5	1.6	2.1	最小
失業率	%	5.1	5.6	4.8				4.0
経常収支	億米ドル		202.3	202.2		192.7		(26社)
	(GDP比)%		(11.4)	(10.7)		(9.5)	(9.6)	
財政収支	億米ドル		18.0	70.9				
	(GDP比,年度)%		(1.0)	(3.7)				
政府債務残高	億米ドル		38.5					
	(GDP比,年度末)%		(1.9)					

(備考) 1. 香港特別行政区政府統計局。ただし財政収支は "The 2007/2008 Budget" (2007年2月) 発表、政府見通しは2007年2月発表、A D Bは "Economic Development Outlook" (2007年3月)、I M Fは "World Economic Outlook" (2007年4月) による。
2. 消費者物価は所得階層別に3種類発表されており、これらを統合してC P I総合が公表されている。表中ではC P I総合を採用しており、都市部家計数の90%をカバーしている。

<2006～07年の経済>

2006年の経済成長率は6.8%となった。05年の7.5%よりやや低下したものの、雇用・所得環境の改善、株価上昇による資産効果等を背景として個人消費が前年比5.1%増と増加したことに加え、民間設備投資が同17.2%増となるなど好調であり、内需を中心とした高い成長となった。外需については、中国本土向けを中心に輸出が堅調に増加する一方、内需の好調を反映して輸入が大幅に増加し、外需の成長に対する寄与は縮小した。失業率は低下傾向が続いており、06年末には4.4%と6年ぶりの低水準となった。

07年の経済成長率は、5%前後(政府見通し4.5～5.5%(07年3月時点)民間機関26社の平均5.0%(06年4月時点))と見込まれる。世界経済の減速による輸出の鈍化が見込まれる一方、良好な雇用・所得環境、所得税減税等を背景として引き続き個人消費を中心とした内需が景気を下支えするとみられる。